

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 8 月 18 日 (2022.8.18)

【国際公開番号】 WO2020/035783
【公表番号】 特表 2021-533903 (P2021-533903A)
【公表日】 令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)
【出願番号】 特願 2021-507849 (P2021-507849)
【国際特許分類】
A 61 M 16/08 (2006.01)
【FI】
A 61 M 16/08 330

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 8 月 9 日 (2022.8.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

医療用呼吸回路の構成要素のためのコネクタであって、
別個の構成要素である内側本体及び外側本体
を含み、
前記内側本体は、別のコネクタと係合するように構成された保持機構を有し、及び
前記内側本体を少なくとも部分的に包囲するように構成された外側本体であり、前記外
側本体は、チューブ係合機構を有する、コネクタ。

【請求項 2】

前記内側本体は、前記内側本体と前記他のコネクタとの間にシールを提供するように構
成された封止機構をさらに含む、請求項 1 に記載のコネクタ。

30

【請求項 3】

前記内側本体の少なくとも一部は、第 1 材料を含み、及び前記外側本体の少なくとも一
部は、第 2 材料を含む、請求項 1 又は 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記第 1 材料は、前記第 2 材料よりも堅い、請求項 3 に記載のコネクタ。

【請求項 5】

前記内側本体の前記保持機構は、前記第 1 材料を含む屈曲領域を含む、請求項 4 に記載
のコネクタ。

【請求項 6】

前記保持機構は、前記屈曲領域を中心に前記本体に対して移動可能である少なくとも 1
つのレバーを含む、請求項 5 に記載のコネクタ。

40

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つのレバーは、前記屈曲領域の 1 つの部分における保持部分と、前記
屈曲領域の別の部分における作動部分とを有する、請求項 6 に記載のコネクタ。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つのレバーは、第 1 レバー及び第 2 レバーを含み、係合解除形態にお
ける前記第 1 レバー及び前記第 2 レバーの前記保持部分間の距離は、係合形態における前
記距離と同じであるか又はそれよりも小さい、請求項 7 に記載のコネクタ。

【請求項 9】

50

前記外側本体は、前記内側本体の一部が前記外側本体内に位置し、及び前記内側本体の一部が前記外側本体の外側に位置することを可能にする切取部を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 10】

前記外側本体の外側に位置する前記内側本体の前記一部は、前記保持機構である、請求項 9 に記載のコネクタ。

【請求項 11】

前記屈曲領域は、ブリッジによって提供される、請求項 5 ～ 7 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 12】

前記ブリッジは、前記ブリッジを前記外側本体と位置合せする特徴部を有する、請求項 11 に記載のコネクタ。

【請求項 13】

前記ブリッジは、前記作動部分と前記保持部分との間に配置される、請求項 11 又は 12 に記載のコネクタ。

【請求項 14】

前記ブリッジは、強化特徴部を含む、請求項 11 ～ 13 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 15】

前記第 1 材料は、前記第 2 材料よりも高いヤング率を有する、請求項 3 ～ 8 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 16】

前記内側本体と前記外側本体とをともに封止するように構成された内側本体及び外側本体封止機構と、前記内側本体と前記外側本体とをともに保持するように構成された内側本体及び外側本体保持機構とをさらに含み、前記内側本体及び外側本体封止機構と前記内側本体及び外側本体保持機構とは、別個の機構である、請求項 1 ～ 15 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 17】

前記内側本体の末端部は、前記外側本体の端部を越えて延在する、請求項 16 に記載のコネクタ。

【請求項 18】

前記末端部は、前記内側本体の残りの部分よりも大きい直径を有する、請求項 15 ～ 17 のいずれか一項に記載のコネクタ。

【請求項 19】

前記内側本体は、前記末端部に向かって外向きにテーパ状である壁を含む、請求項 17 又は 18 に記載のコネクタ。

【請求項 20】

前記末端部における前記内側本体の内壁の直径は、前記内壁の残りの部分の直径よりも大きい、請求項 19 に記載のコネクタ。

10

20

30

40

50